

首都圏広域地方計画スケルトン（案）

平成 20 年 3 月

首都圏を取り巻く諸状況と課題

(1) 首都圏を取り巻く諸状況と地域特性

- **地勢**
 - ・ 広大な関東平野と多様な地勢
 - ・ 自然災害に対して脆弱な地勢
- **人口・土地利用**
 - ・ 約 4,200 万人が暮らす大都市圏
 - ・ 少子・高齢化社会の到来による人口減少と急速な高齢化の進行
 - ・ 多様な土地利用と拡散する市街地
 - ・ 荒廃が進む森林、農地
- **経済・産業**
 - ・ 日本経済を牽引する首都圏経済
 - ・ 産業構造（サービス業中心の南関東地域、製造業など”ものづくり”中心の北関東地域）
 - ・ 製造業（世界ブランドの大企業とともに、高度な技術力を持つ中小企業も立地）
 - ・ 物流・運輸（国際ゲートウェイ機能と物流施設の立地）
 - ・ 商業（集積の地域差、地方部の中心市街地での空洞化）
 - ・ 農業（一大食料供給基地として多様な農業を展開）
 - ・ 林業（林業再生による良好な森林管理のサイクルの回復）
 - ・ 水産業（太平洋沿岸部・島しょ地域の基幹産業）
 - ・ 観光（都市観光・中山間地域などにおける観光資源を活かした地域の活性化）
- **暮らし**
 - ・ 都市的サービス水準
 - ・ 居住水準・居住環境
 - ・ ライフスタイルに対応した多様な働き方・住まい方
- **水資源・エネルギー**
 - ・ 水資源と膨大な水需要
 - ・ 他圏域に依存するエネルギー
- **環境**
 - ・ 大都市圏が抱える地球温暖化問題
 - ・ 更なる改善を要する大気環境と土壌汚染の顕在化
 - ・ 緑地の減少、生態系の喪失
 - ・ 閉鎖性水域の水質悪化

- ・ 大量消費に伴う廃棄物処理
- 災害
 - ・ 地震（切迫性の高い首都直下地震）
 - ・ 風水害及び高潮災害（台風や多発する計画規模を上回る集中豪雨等による浸水被害）
 - ・ 土砂災害
 - ・ 海岸侵食
 - ・ 火山（多数の活火山）
- 交通・情報通信基盤
 - ・ 道路（環状道路の整備の遅れ）
 - ・ 鉄道（世界有数の鉄道ネットワーク）
 - ・ 港湾（国際的地位向上が求められている港湾機能）
 - ・ 空港（国際的地位向上が求められている空港機能）
 - ・ 国土基盤の維持・更新
 - ・ 情報通信サービス水準の地域差
- 新たな「公」
 - ・ 社会的サービスの分野への多様な主体の参加
 - ・ 地縁型コミュニティの弱体化とテーマ型コミュニティの形成
- 首都圏の地域特性
 - ・ 雇用圏域
 - ・ 生活圏、都市的サービス（医療、商業、教育）
 - ・ 地域の産業特化度
 - ・ 首都圏の特徴的地域区分

(2) 時代の潮流から見た首都圏の課題

- グローバル化の進展への対応
- 人口減少、少子化、高齢者人口の急速な増加への対応
- 国民の価値観の変化・多様化への対応
- 地球温暖化等の環境問題への対応
- 地域の特性を踏まえたきめ細かな対応

首都圏の果たすべき役割と目指すべき方向 (首都圏の果たすべき役割)

(1) 世界・東アジアのリーディング圏域としての役割

- 世界に開かれた国際ビジネス拠点
- エネルギー・環境関連の技術・ノウハウの先進地域

(2) 日本の首都中枢機能を有する圏域としての役割

- 日本経済を牽引する成長のエンジン
- 多様な情報発信・情報交流を推進する世界に対する日本の顔
- 首都中枢機能の安全で持続的な維持
- 全国の産業の発展に寄与する巨大市場

(3) 約 4,200 万人の多様な人々が暮らし、働く場としての役割

- 豊かで多様なライフスタイルが実現できるモデル圏域
- 安全・安心な暮らしを実現するモデル圏域
- 良好な環境と暮らしが共生する美しい圏域
- 「新たな公」による地域づくりを推進するモデル圏域

首都圏の果たすべき役割と目指すべき方向 (新たな首都圏の目指すべき方向)

(1) 日本全体を牽引する首都圏の国際競争力の強化

- イノベーションの創出
 - ・ 首都圏における地域クラスターの育成
 - ・ 地域を支える産業の創出
- 国際ビジネス拠点としての都市環境整備
- 太平洋・日本海ゲートウェイ機能の強化
 - ・ 太平洋側ゲートウェイ（港湾、空港）
 - ・ 日本海側ゲートウェイ
 - ・ 港湾・空港アクセス（陸上交通）

(2) 人口約 4,200 万人が暮らしやすく、美しい地域の実現

- 新たな圏域構造の構築
- 活力あふれる都市圏及び地域の形成
 - ・ 集約型都市構造への転換
 - ・ 大都市のリノベーション
 - ・ 持続可能な地域交通体系の構築
 - ・ 中山間地域の整備
 - ・ 島しょ地域の整備
- 住生活の質の向上と良好な居住環境の形成
 - ・ 地域の属性に応じた住宅・宅地の供給

- ・ 良好な住宅ストックの形成・活用と長く大切に使う社会の実現
- ・ 地域の実情に応じただれもが暮らしやすい住環境及び住宅市場の整備
- ・ 密集市街地の整備・改善等安全・安心の確保
- ・ 良好な都市景観の形成と快適な住生活空間の整備
- ・ ニュータウン等の再生
- ・ 広域救急医療体制の整備
- ・ 水資源の安定確保
- **歴史、文化、地域資源を活用したまちづくり**
 - ・ 首都圏の顔づくり
 - ・ 川や水辺の持つ多様な機能を活かしたかわまちづくり
 - ・ 街道を活かしたまちづくり
 - ・ 産業遺産や歴史的街並みなどの地域資源を活かした観光まちづくり
 - ・ 芸術・文化やスポーツを活かした地域づくり
- **農林水産業の強化と農山漁村の活性化**
 - ・ 農林水産業の強化
 - ・ 農山漁村の活性化

(3) 安全で安心な生活が保障される災害等に強い国土管理・危機管理体制の確立

- **地震・津波対策の推進**
 - ・ 地震対策の推進
 - ・ 津波対策の推進
- **風水害・高潮・豪雪対策等の推進**
 - ・ 風水害対策の推進
 - ・ 高潮対策の推進
 - ・ 山地から海岸までの一貫した総合的な土砂管理等の取組の推進
 - ・ 豪雪対策の推進
- **火山噴火対策の推進**
- **危機管理体制の充実**

(4) 良好な環境の保全、創出

- **先導的な地球温暖化対策の推進**
 - ・ 地球温暖化対策の推進
- **森林・農地の整備・保全と活用**
- **水と緑の保全と活用**
 - ・ 水と緑のネットワーク、エコロジカルネットワークの形成
 - ・ 閉鎖性水域の再生（東京湾の再生、湖沼等閉鎖性水域の再生）
 - ・ 沿岸域の保全

- 循環型社会の形成
- 大気・土壌汚染対策の推進
 - ・ 良好な大気環境の確保
 - ・ 土壌環境の保全

(5) 多様な主体の交流・連携がより活発な圏域の実現

- 観光交流の強化
- 都市・農山漁村の交流・連携
- 多文化共生社会の実現
- 「新たな公」による地域づくり

新しい首都圏の実現に向けた地域の戦略

※本資料は、首都圏広域地方計画プレ協議会等における検討状況を整理したものであり、今後の追加・変更がありうるもの